



6月23日(火)ならコープ本部で第48回通常総代会を開催しました

総代へは「書面議決書」による出席の協力をお願いし、当日は検温と消毒・換気の徹底や、来賓を招かず時間を短縮するなど、新型コロナウイルスの感染防止策を講じました。



全ての議案が可決・承認されました

総代510人中、委任・書面議決を含む499人の出席により、提案した4つの議案すべてが賛成多数で可決・承認されました。

第1号議案	2019年度事業報告・決算関係書類承認の件	反対0票、保留2票、賛成多数により承認。
第2号議案	2020年度事業計画及び収支予算案決定の件	反対0票、保留3票、賛成多数により可決。
第3号議案	役員選任規約一部変更の件	反対0票、保留4票、賛成多数により可決。
第4号議案	役員報酬決定の件	反対5票、保留10票、賛成多数により可決。

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

総代会議は、生協運営の根幹となるものですが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大により、本総代会前に直接討議ができなかったことは苦しく、総代からもご心配の声をいただいています。ただ、書面では事前討議用の議案書へのご質問、ご意見、感想のほか、社会課題への問題意識、くらしへの不安、ならコープに期待すること、職員へのねぎらいのメッセージなどが多く寄せられました。これからもさまざまな制約は予想されますが、少人数の懇談会や会議、オンラインの場なども取り入れるなどしてこれまで以上に総代一人ひとりの参加を大切にすめてまいります。

総代のみなさまには、引き続きならコープの運営に積極的な参加をいただき、また組合員の運営参加が広がるよう、応援をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染予防をみんなですめる中で、一人ひとりが健康管理と衛生管理をきちんとすること、くらしを守るために主体的にしっかりと考える行動できる消費者となること、「たすけあい・ささえあい・わちあい」の世界を協同の力でつくりあげていくことが、持続可能な社会のためにいかに重要なのかを改めて知ることになりました。私たちを取り巻くさまざまなリスクを乗り越えていけるよう、生活協同組合の理念や原則、取り組みへの共感をさらに広げ、組合員の出資・利用・運営と活動への参加によって「平和とよりよい生活」を実現する運動をすすめていかねばなりません。一歩ずつ2020年度の歩みをすすめて、2030年に向けて「誰も取り残さない安心してくらせる地域」をめざしてすすんでまいります。

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

総代会議は、生協運営の根幹となるものですが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大により、本総代会前に直接討議ができなかったことは苦しく、総代からもご心配の声をいただいています。ただ、書面では事前討議用の議案書へのご質問、ご意見、感想のほか、社会課題への問題意識、くらしへの不安、ならコープに期待すること、職員へのねぎらいのメッセージなどが多く寄せられました。これからもさまざまな制約は予想されますが、少人数の懇談会や会議、オンラインの場なども取り入れるなどしてこれまで以上に総代一人ひとりの参加を大切にすめてまいります。

総代のみなさまには、引き続きならコープの運営に積極的な参加をいただき、また組合員の運営参加が広がるよう、応援をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染予防をみんなですめる中で、一人ひとりが健康管理と衛生管理をきちんとすること、くらしを守るために主体的にしっかりと考える行動できる消費者となること、「たすけあい・ささえあい・わちあい」の世界を協同の力でつくりあげていくことが、持続可能な社会のためにいかに重要なのかを改めて知ることになりました。私たちを取り巻くさまざまなリスクを乗り越えていけるよう、生活協同組合の理念や原則、取り組みへの共感をさらに広げ、組合員の出資・利用・運営と活動への参加によって「平和とよりよい生活」を実現する運動をすすめていかねばなりません。一歩ずつ2020年度の歩みをすすめて、2030年に向けて「誰も取り残さない安心してくらせる地域」をめざしてすすんでまいります。



総代会の開催にあたって(要旨)
理事長 中野 素子

組合員の代表(総代)の意見を反映して通常総代会を開催

生協は株式会社と違い、「こんな商品がほしい」「こんなサービスがあったらいいな」という声を実現するために、組合員が主人公となり運営に参加する組織です。組合員は出資額に関わらず一人一票の議決権を持ち、年度の決算を承認し、ならコープの方針など大切なことを決定します。しかし全組合員が一堂に集まることは困難であることから、組合員の代表として「総代」を選び、生協の最高意思決定機関である総代会で議決します。

総代は9月の総代選挙により、510人が17の選挙区から選出されます。地域の組合員の代表として、「地域別総代会議」「エリア別総代会議」などの場で組合員の声を出すことも大切な役割です。

しかし今期は、次期総代会の議案説明をもとに話し合い意見を出す場である「春の地域別総代会議」「エリア別総代会議」が新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。総代の皆さまへは、感染防止策として2019年度の取り組みをまとめた映像DVDの送付や、総代専用ご意見フォームを設置するなどの対応をしました。直接ご意見を聞く場を持つことができませんでしたが、寄せられた声は議案へ反映し第48回通常総代会を開催しました。



2019年度取り組んだこと

2019年度は、2021年までの3カ年計画である12次中期計画が始まる年度となり、創立45周年を迎えました。2030年に向かってありたい姿を具体的に行動に移すため、昨年の第47回通常総代会で「みんなで確認しておきたいこと」とした、事業と活動を通じて、「誰もがいつまでも笑顔でくらす社会」SDGs(持続可能な開発目標)の実現をめざして、私たち自らの消費行動やくらしのあり方の見直しをすすめました。

※総代会には、事前に議案説明を受けた総代から、方針や計画に対して「わたしのひとこと」「総代の声」が出されます。ならコープは、そのひとことを大切に事業と活動とをすすめます。昨年の第47回通常総代会では34通の「わたしのひとこと」が出されました。2019年度取り組んだことを総代の声とともに報告します。

2019年度事業と活動の概況

	2019年度実績	計画比	前年比
組合員数	27万6,394人	99.4%	100.3%
出資金額	106億2,822万円	101.2%	102.2%
供給高	384億4,948万円	99.4%	99.3%

宅配事業本部を新たに配置し、各自治体との「住民の買い物支援事業に関する協定」の締結もすすみ、コープあつたか便事業は11月より移動店舗5号車の運行を開始しました。停留所数は203カ所となりました。夕食宅配事業では、週4日お届けの開始と吉野町への配達エリア拡大が実現しました。

総代の声
生まれ育った地域で今も暮らしていますが、過疎化がすすんでいます。その中でコープの配達はすごく助かっています。地域の方々からもお弁当の配達をしてほしいとの声も出ています。地域活性化のためにも検討をお願いします。

●**宅配事業**
組合員一人ひとりの状況をつかむことを課題としました。インターネット注文「eフレックス」やスマートフォンアプリ「コリエ」は利用が伸びました。組合員のくらしに役立つ利用方法を今後もお知らせしていきます。

●**無店舗事業**
組合員一人ひとりの状況をつかむことを課題としました。インターネット注文「eフレックス」やスマートフォンアプリ「コリエ」は利用が伸びました。組合員のくらしに役立つ利用方法を今後もお知らせしていきます。

コープあつたかでは9月末で閉店となり、地域外の組合員からも心配の声をいただきました。約半年間対応を重ね、コープあつたかご利用組合員の約30%に現在も他の店舗や無店舗事業をご利用いただいています。10月から「あつたか未来づくりステーション」を開業し、受取ハウス、コープあつたか移動店舗・お買物バスによる買い物支援をすすめる、集会所を利用した組合員活動も継続しています。

総代の声
「コープあつたか」の閉店はとても残念ですが、コープあつたかの未来をどうするかということを考えていくと話され、月1回の利用者懇談会をならコープが開いて、皆さんの意見を聞いていくということでした。また南エリアの拠点となる場所が出来ることを期待しています。



ディアーズコープいこま



フロントレー包装

●**店舗事業**
コープ朱雀、ディアーズコープいこまの改装を実施。ディアーズコープいこまの改装では、計画段階から店舗協議会で協議を重ね、キッズスペースやオープンキッチンを設置し、商品学習会などが行われました。また、「フロントレー包装機」を導入し、環境への配慮と利便性の面で、組合員の期待の声に応えることができました。

総代の声

「みんなで集まって、一緒に何かをする」ことが難しくなり、活動に参画する組合員も減少傾向にあったので、ずっと組合員活動の見直しをお願いしてきました。皆さんも自身の空いた時間を利用して、興味のあることに気軽に参加してみませんか？新しい出会いや発見があるかも？

「できる時に、できる人が、できることで」参加できる、新しい組合員組織運営がスタート。北・中・南のエリアでは、エリア運営協議会を中心に、エリア委員と方針の実現に向け取り組み、コープ委員会では、商品学んで広げることを中心に活動がすすみました。全体活動は、エリア委員が参加する「商品政策検討会議」と、活動推進委員が参加する「環境・エネルギー」「福祉・子育て」「くらしの安心・安全」の各政策協議会では、関係部門の部長・役員とともに協議し、政策の具体化を図りました。

●商品政策分野

産直政策を見直し答申としてとりまとめました。JAならけんとするめる地産地消をすすめる会は、7月には同会の10年の活動を振り返る報告会を開催しました。

●環境・エネルギー分野

総代の声

生協はごみの分別回収に早くから取り組み、組合員の関心も高く、皆協力してきました。ところが最近、回収された資源ごみの行き場の問題が急浮上し、プラスチックによる海洋汚染も深刻です。プラスチック容器の削減などに真剣に取り組んでほしいです。

ならコープ地球温暖化防止自主行動計画に

基づくCO₂総排出量は前年比74%と大幅に削減できました。プラスチックごみ問題は、リサイクル工場見学や講演会を開催し、私たち自らのくらしを見直す機会となりました。また、ならコープのプラスチックなどの省資源・資源有効活用について協議を開始しました。

食品ロス問題は、2019年「組合員のこころ



吉田副理事長

のテーマと

し、ならコープ全体で食品ロス削減に向けて取り組みました。10月には奈良県と食品ロス削減運動を展開し、10月30日「食品ロス削減の日」には全店舗でフードドライブを実施しました。



フードドライブ

●福祉・子育て分野

子育ての問題を地域住民全体で考える社会づくりとすべての子どもの生きる力の育成を応援することを、「地域みんなで子育て応援宣言」として、広く県民に宣言しました。店舗事業の「すくすくパス」、無店舗事業の「すくすく割引（旧ひよこ割引）」の対象年齢を12歳（小学校卒業まで）引き上げました。

●平和活動

2020年の核兵器不拡散条約再検討会議にあわせ、組合員代表の派遣を決め、学習および募金活動に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響により生協代表団派遣は中止となりました。10月に、被爆・戦争体験の継承活動の拠点として、コープふれあいセンター六条に「平和ライブラリー」を開設しました。



平和ライブラリー

●災害支援活動

東日本大震災への支援として、7月に「福島の子ども保養プロジェクト」ならを開催し、福島の子どもの親を奈良に迎えました。この運営には東日本大震災目的別募金を活用しました。11月にはNPO法人桜ライン311（陸前高田市）の植樹会と民泊体験に組合員と役員が参加。災害



議長

支援活動積

立金378

万7359

円をこれらの活動支援として執行しました。

また、東日本大震災目的別募金や台風19号緊急支援募



災害支援活動

金、ユニセフ・被爆者救援募金、福祉募金など、組合員から多くの善意が寄せられました。

●コンプライアンス経営

総代の声

2018年度は店舗でお正月3が日を休業しましたが、2019年はさらに年に数回休業するということで、素晴らしい取り組みだと思います。これからもずっと変わることなく、コープが社会を率先していく存在であってほしいと思います。

健康診断受診率や業務中禁煙などの働きかけが評価され、経済産業省の「健康経営優良法人」に認定されました。働き方改革の推進については、店舗の休業日増や無店舗事業の8月の時短対応などで前進しました。



●創立45周年企画の取り組み

ならコープ45周年記念DVDを活用し、これまでの歩みを確認しました。店舗事業では「ならつぴカードスーパージョージ」企画で約1000万円を組合員に還元し、無店舗事業ではならコープ組合員の声から誕生した「CO・OPねじり糸こんにゃく」を配布し、約500万円を還元しました。

.....「2020年度めざしたいこと」.....

3つの目標

1. 供給高 … 376億8,000万円（前年比98.0%）、経常剰余金2億4,000万円以上をめざします。
2. 出資金の目標 … 期末出資金残高108億円をめざします。
3. 仲間づくりの目標 … 期末組合員27万7,000人（新規加入8,000人）

事業・活動方針

- ① 利用や活動に参加する組合員が増えること、より一層利用しやすくなることの実現をめざして取り組みます。
- ② 事業と活動を通じて「誰もがいつまでも笑顔でくらす社会（SDGs・持続可能な開発目標）」の実現をめざして取り組みます。
- ③ 「組合員のための生協」の考えのもと、組合員主権の協同組合ガバナンスを二層強固なものにしていきます。
- ④ 更なるコンプライアンス経営の強化とリスク管理と対応の強化をめざして取り組みます。
- ⑤ 人づくりと働き方改革推進、経営構造改革と本部機能の更なる役割発揮をめざして取り組みます。

基本方針

事業と活動を通じて組合員のくらしに貢献し続けます

みんなで確認しておきたいこと

ならコープは、「平和とよりよい生活のために」をスローガンに、「家族に安全で安心して食べさせられる商品を購入したい」との想いで創立された生活協同組合です。その想いは今も変わりません。

創立以来大切にしてきた平和の理念「よりよい生活は平和であってこそ実現する」を事業と活動のベースにおき、持続可能な社会の実現をめざして様々な取り組みをすすめていきます。また、食の安心・安全の取り組みを最優先課題とし、商品を中心にその開発や調達の歴史、プロセスを組合員・職員ともに学び、体感し、広め、伝えることを事業と活動の柱とします。

事業と活動を通じて「誰もがいつまでも笑顔でくらす社会～SDGs（持続可能な開発目標）～」の実現をめざして、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきましょう。

全体テーマ CO・OP商品60周年

“商品を普及する”から“みんなで学ぶ”へ、
そして
“伝える”から“伝わる”へ

39人の総代から45通の「わたしのひとこと」が寄せられました。

今回会場での発言はありませんでしたが、事業に対するご意見やリスク管理の対応強化、食の安心・安全に関することやお届け時の欠品問題、その他くらし全般の課題など、多岐にわたってならコープへのメッセージをいただきました。紙面上全てを紹介することができませんが、抜粋して掲載します。いただいた「わたしのひとこと」は、ならコープの今年度の課題として取り組みます。また、その進捗については今後の地域別総代会議などで確認します。

ならコープでは、地球温暖化の原因となるCO₂を減らすため、食品ロスの削減やノンフレ化、自然エネルギーの普及など組合員から見えない所で努力をされています。まず減らす(リデュース)・繰り返し使う(リユース)ことが大事です。今一度、身の回りを見直してみませんか。未来の地球を守るため、一人ひとりの行動が大きな力になります。 unnecessary プラスチックをみんなでなくしていきましょう。

幼い孫がいます。小さな子どもは放射能や添加物の影響を受けやすく、安心安全な食品をできるだけ食べさせたいです。品質保証室の検査はとてありがとうございます。「CO・OPきらきらステップ」も心強いです。残留農薬、放射能、添加物のさらなる安全性の強化をお願いします。

日本の食料自給率が40%に満たない状況が続く中、ならコープでは安心・安全な国内生産物が「産直」という形で組合員に届けられ、産地も年々増えているのはうれしいことです。私たちが積極的に利用し自給率向上に努めたいと思います。ただ、残念なことに国内産小麦を原料とした食パンが久しく登場していません。米に次ぐ主食である小麦の生産を増やすためにも、国内産小麦のおいしい食パンを開発してください。また、国内産レモンの収穫期に外国産のレモンを案内しているのは、安全性やフードマイレージのうえからも納得できません。

自己責任、勝ち組・負け組、このような言葉が私たちの生活に入り込んで、横のつながりが薄くなったと感じていました。そして新型コロナウイルスの流行が重なり、人がますます孤独になっているように思います。私は今こそコープの出番だと思います。一人ひとりが身近な人に声をかけ、子ども連れでも参加できる活動の場があり、お互い声を掛け合える雰囲気を作ることができる。「これぐらいなら私にもできる」、そんな場所がコープだったらいいと思います。

「コープたすけあいの会」は設立30周年を終え、「住み慣れた場所で安心して自立したくらしができるように」の思いはより強いものになりました。今年は新型コロナウイルスのため活動を中止していましたが、活動再開に向けて、休止中の利用会員の状況や希望についてお聞きすると、ほとんどの方が再開を心待ちにされているのです。今後の活動は、感染防止の対策を十分に話し合って再開できたらと願っております。お困りのことがありましたら、どうぞご相談ください。活動会員・賛助会員も募集中です。

私は店舗と共同購入の両方を利用しています。配達の方がさまざまな理由により頻繁に交代されます。私たちの班担当の方だけでも毎年のように辞めていく人があります。生協でも職員の働き方を見直し、改善をなさっていることは知っています。働く人が生きがいを持って仕事をし、私達も楽しく利用・活動できるコープであるため、一層のご配慮をお願いします。

フードバンクについては全国各地でも取り組みがなされてきています。奈良でも一昨年より立ち上がり、ならコープも関わってこられましたが、奈良市から遠く離れた組合員が商品を届けたいと思って難しい状況です。毎週の配達の際に持ち帰ってもらえたり、店舗で受け付けられるシステムができれば、ごみ減量化にも繋がると思うので検討をお願いします。

新型コロナウイルスの感染が広がり先の見通せない不安もありますが、今のところいつもと変わらぬ生活を送ることができています。コープがあるという安心感がとても強いです。配達の方、店舗の方、生産者さん、物流センターで働かれている方、関係者の皆さん本当にありがとうございます。皆さんのおかげで生活が成り立っています。たすけあい・わかちあいの精神を大切に、残りの人生もコープとともに歩んでいきたいと思っています。これからも安心、安全、安価な商品をお願いします。そして移動店舗や見守り事業、地域との連携を進め、日々のくらしを支えていただきたいです。

CO・OP商品60年のあゆみを読んで、CO・OP商品はたくさんの組合員、職員、メーカーの想いが形になったものとわかりました。安心、安全である事はもちろん、品質も良くおいしい!こんなものがあつたら良いなという声に応えてくれる!こんなに「特別」な事が「あたりまえ」だったんだと、改めてCO・OP商品が大好きになりました。まだまだ知らない商品がたくさんあるので、自分のお気に入りを探していきたいです。

「わたしのひとこと」を受けての理事会まとめ

理事会を代表して、山中専務理事が回答しました。

昨今の状況は、新型コロナウイルスの感染拡大によって外出を自粛せざるを得ないこととなり、組合員活動はすべて計画を中止もしくは延期することとなりました。6月からは自粛が解除され緩和の動きとなっていますが、第2波の広がりも心配されています。そんな中ではありますが、新しい生活様式に沿って、7月の創立月間から組合員活動を再開するとともに、経済的に影響が大きかった一人ひとりの家計に対して「特別還元!夏のせい!かつ応援」を実施する予定です。

見、国内の食料自給率が低迷する中で、産直商品を中心とした国産商品の取り扱い拡大への要望、食品に表示されている文字が小さく確認できないなど、食の安心・安全に関するご意見もたくさん頂戴しました。これらの声につきましては、今後も安心してご利用いただくためにそれぞれの課題に対して、専門家や日本生協連等の協力を得ながら、最新の科学的知見に基づいて政策の見直しを含めて検討を加えてまいります。

さて今回は、総代のみなさんから45通の「わたしのひとこと」をいただきました。環境問題をはじめ、未来の地球を守るための施策として、「減らす」「繰り返し使う」ことの提案や新型コロナウイルスの感染拡大時において、店舗や無店舗、宅配事業を継続できたことに対するたくさんの感謝の声をいただきました。これからも、これらの声を励みに事業と活動をすすめていきたいと思います。一方で必要な商品が手に入らない、届くと思っていたものが届かないなど、安定供給に対するお叱りの声もいただきました。これらのご意見につきましては、仕組みを含めて改善し今後に備えたいと思います。

また農業の安全性に対する懸念の声と、それらに関わる商品案内の中止へのご意見や、CO・OP商品や取り扱い商品に対しての農業や食品添加物、残留放射性物質など、食の安全性を高めて欲しいといったご意見

さて今回は、総代のみなさんから45通の「わたしのひとこと」をいただきました。環境問題をはじめ、未来の地球を守るための施策として、「減らす」「繰り返し使う」ことの提案や新型コロナウイルスの感染拡大時において、店舗や無店舗、宅配事業を継続できたことに対するたくさんの感謝の声をいただきました。これからも、これらの声を励みに事業と活動をすすめていきたいと思います。一方で必要な商品が手に入らない、届くと思っていたものが届かないなど、安定供給に対するお叱りの声もいただきました。これらのご意見につきましては、仕組みを含めて改善し今後に備えたいと思います。

また農業の安全性に対する懸念の声と、それらに関わる商品案内の中止へのご意見や、CO・OP商品や取り扱い商品に対しての農業や食品添加物、残留放射性物質など、食の安全性を高めて欲しいといったご意見

また農業の安全性に対する懸念の声と、それらに関わる商品案内の中止へのご意見や、CO・OP商品や取り扱い商品に対しての農業や食品添加物、残留放射性物質など、食の安全性を高めて欲しいといったご意見

また農業の安全性に対する懸念の声と、それらに関わる商品案内の中止へのご意見や、CO・OP商品や取り扱い商品に対しての農業や食品添加物、残留放射性物質など、食の安全性を高めて欲しいといったご意見



山中専務理事

あをがき臨時号および第48回通常総代会へのご意見・感想はこちら

郵送は
〒630-8503
ならコープ
「あをがき」係まで
※宛先住所記入は不要



貸借対照表

(2020年3月31日現在)

市民生活協同組合ならコープ

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,123,609	流動負債	7,173,895
現金預金	5,362,772	買掛金	576,027
供給未収金	2,833,298	事業連合買掛金	3,467,924
商品	372,858	短期借入金	649,976
未収金	401,133	短期リース債務	21,947
その他	185,232	未払金	915,495
貸倒引当金	△ 31,686	未払法人税等	16,839
		未払消費税等	2,120
		未払費用	57,013
固定資産	14,480,726	前受金	217,613
有形固定資産	10,839,590	預り金	970,808
建物	10,515,015	ポイント引当金	67,520
減価償却累計額	△ 5,801,520	賞与引当金	145,608
構築物	1,957,848	資産除去債務	65,000
減価償却累計額	△ 1,079,110		
機械装置	935,812	固定負債	1,613,439
減価償却累計額	△ 507,999	長期借入金	962,586
車両運搬具	8,639	長期リース債務	103,878
減価償却累計額	△ 8,247	長期未払金	10,148
器具備品	1,431,136	退職給付引当金	29,989
減価償却累計額	△ 1,122,645	預り保証金	163,840
土地		資産除去債務	342,995
リース資産	189,906		
減価償却累計額	△ 64,080		
		負債合計	8,787,335
無形固定資産	712,660	(純資産の部)	
借地権	37,571	組合員資本	14,817,001
ソフトウェア	616,742	出資金	10,628,225
ソフトウェア仮勘定	13,716	剰余金	4,188,776
その他	44,628	法定準備金	2,926,270
		資産再評価等準備金	390,096
その他固定資産	2,928,475	災害支援活動積立金	2,639
関係団体等出資金	762,830	災害対策積立金	100,000
関係団体出資金	645,990	別途積立金	560,000
子会社等株式	116,840	当期末処分剰余金	209,770
長期貸付金	778,521	(うち当期剰余金)	(17,009)
長期前払費用	24,482		
差入保証金	962,122	純資産合計	14,817,001
繰延税金資産	408,870		
その他	68	負債・純資産合計	23,604,336
貸倒引当金	△ 8,419		
資産合計	23,604,336		

損益計算書

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

市民生活協同組合ならコープ

(単位：千円)

科 目	金 額	
供給事業		
供給高		38,449,487
供給原価		
期首商品棚卸高	387,135	
当期仕入高	28,884,165	
合計	29,271,300	
期末商品棚卸高	372,858	28,898,442
供給剰余金		9,551,044
その他事業収入		
教育文化事業収入	42,838	
配達手数料収入	395,071	
共済受託収入	469,734	
不動産賃貸収入	255,387	
その他受取手数料	309,836	
その他事業収入計		1,472,868
事業総剰余金		11,023,913
事業経費		
人件費	4,034,405	
物件費	7,018,854	11,053,260
事業損失金		29,346
事業外収益		
受取利息	7,936	
受取配当金	6,988	
賃貸資産収入	65,023	
雑収入	218,733	298,681
事業外費用		
支払利息	3,589	
賃貸資産関連費用	41,038	
雑損失	61,048	105,676
経常剰余金		163,659
特別利益		
コープたかだ解体工事負担金		975
特別損失		
固定資産除却損	8,147	
減損損失	91,684	
コープたかだ閉店補償等	23,449	123,281
税引前当期剰余金		41,352
法人税等	△ 5,139	
法人税等調整額	29,482	24,343
当期剰余金		17,009
当期首繰越剰余金		86,461
資産再評価等準備金取崩額		91,684
特別償却準備金取崩額		10,827
災害支援活動積立金取崩額		3,787
当期末処分剰余金		209,770

剰余金処分計算書

(2020年6月23日)

市民生活協同組合ならコープ

(単位：円)

項 目	金 額
I. 当期末処分剰余金	209,770,231
II. 剰余金処分別	
1. 法定準備金	30,000,000
2. 出資配当金	21,467,383
	51,467,383
III. 次期繰越剰余金	158,302,848

(注 記)

- 法定準備金は、消費生活協同組合法第51条の4第1項の定めによって30,000,000円を積み立てます。
- 定款第79条による利用分量割戻は実施しません。
- 定款第80条に定める出資配当は、年0.20%(税引き後0.15%:復興特別所得税含む)でおこないます。
- 出資配当金の1円未満の端数は切り捨てて計算いたします。
- 単年度の経営に左右されず、継続的に災害支援活動が実行できるよう、内部留保している災害支援活動積立金2,639,504円を災害支援活動の費用に充てるため積み増しはしません。
- 次期繰越剰余金には、消費生活協同組合法第51条の4第4項に定める教育事業等繰越金24,000,000円を含みます。

※復興特別所得税は、東日本大震災の復興財源を確保するため、所得税額に対して2.1%分を上乗せ課税するもので、出資配当金に対して20.42%が源泉徴収されます。

《剰余金割戻の取扱いについて》

- 剰余金の割戻を受けることのできる組合員は、2019年度末現在の組合員で、かつ総代会当日に在籍している組合員です。
- 出資額に応ずる割戻(出資配当)は、2019年度末の出資金残高を対象に計算します。年度途中の増資は日割り計算します。
- 払戻手続などは、各組合員宛てに通知致します。払戻請求の受付期間は2020年7月1日～8月31日とします。2020年8月31日までに払戻請求がない場合、出資配当金は、2020年8月1日付で出資金に振り替えることを基本とします。

剰余金処分とは

剰余金(一般でいう利益)の処分については、生協法によって以下のように定められています。



- 事業活動の結果、剰余金や損失金が出た場合は総代会でその処分や処理について決定しなければなりません。
- 剰余金の処分にあたっては、組合員のための事業を継続させていくために、第一に法定準備金、第二に教育事業等繰越金を優先して積み立てることが決められています。
- その後、剰余金がある場合は、出資額や利用分量に応じた割戻(出資配当)をすることができます。

「決算概況のお知らせおよび剰余金割戻のお知らせ」をお届けします

第48回通常総代会で承認された決算報告の内容を、組合員の皆さまに「決算概況のお知らせおよび剰余金割戻のお知らせ」としてお届けします。共同購入(班)・こまどり便をご利用の皆さまにつきましては、今週【7月13日(月)～7月17日(金)】の「請求明細書兼商品お届け表」に添付してお届けしています。共同購入・こまどり便をご利用でない皆さまには、7月中にお知らせを郵送します。ご確認ください。

なお、お知らせが手元に届かない場合(郵送の方は7月下旬になっても届かない場合)は、配達担当者または店舗サービスコーナーへお問い合わせください。